

令和7年度

農福連携研修会

日時:令和 8年 3 月 2 日(月) 13:00~16:40
(受付12:30~)

場所:RIKUGOの森
(奈良市針ヶ別所町820)

昨今の日本の食料自給率はカロリーベースで38%にとどまっており、中山間地域における農業の維持と生産力強化が重要な課題となっています。本研修会では、こうした状況を踏まえ、農福連携を切り口に、中山間地域の人材・資源を活かし、障害者就労と地域農業を両立させる持続可能な取組への理解を深めます。

内 容

(1) 「農福連携関連施設 視察」 (13:00~15:00)

※視察先①~⑧までは、マイクロバスで移動します。

【視察先】①RIKUGOの森

②どんぐり山猫工房

③山田農場

④入所施設ブルーベリー園

⑤宿泊用古民家

⑥ハーブクラブ

⑦ソルテラス

⑧満天星めぐり石鹸工房

(2) 「農福連携社会への取り組み」 (15:20~16:20)

社会福祉法人 青葉仁会 理事長 さかきばら のりとし 榊原 典俊 氏



榊原 典俊氏

(3) 質疑応答・意見交換 (16:20~16:30)

(4) 情報提供・アンケート用紙記入 (16:30~16:40)

奈良県庁 食農部 担い手・農地マネジメント課

社会福祉法人青葉仁会(1980年設立)ノウフクアワード2023でグランプリを獲得。

【講師からのコメント】

青葉仁会は、障がい者が「働くこと(ものづくり)」を通して地域課題に取り組み、誰ひとり取り残されことなく皆が参加できる社会、持続可能な地域の実現を目指すとともに、それぞれの人生に思い描く「幸福」を願う社会福祉法人です。

「はたらきたい」「やくにたちたい」という気持ちは人間誰しもにそなわった「生命活動」であり願いです。働くことが困難な障がいのある人達も同じ気持ちを抱いています。彼らに支援や環境を整備することで、個々にそなわった力を発揮し、個性を輝かせ、仕事を通して得た力をもって自ら生きる意欲が自立につながります。やりがいや生きがいを実感できることは、豊かな人生を作る重要な要素です。私たちが提供する支援とは障がい者が社会に誰もとと同じ居場所を築けるよう、彼らと共にその道筋をひくことです。私たちが目指すのは全ての人の関わりによる「循環型社会と幸福の平等」とを実現する共生社会です。

対象: 農業者、市町村(農政・福祉)及び県の担当職員等

申込期限: 令和8年2月20日(金)まで

お問い合わせ先

奈良県 食農部 担い手・農地マネジメント課(担当:松尾)
TEL:0742-27-7617 FAX:0742-27-5351

申込は
裏面へ